

姫島と島の人々に生まれ、兄弟のように共に学ぶ

文



姫島には、小学生と中学生が共に学ぶ姫島小学校と志摩中学校姫島分校があります。平成30年度は、小学生4名、中学生3名が通っており、少人数の良さを生かし、小中で連携しながら勉学に励んでいます。

木のぬくもりあふれる校舎には、吹き抜けを囲んで理科室や家庭科室などが並び、1階が小学生、2階が中学生の教室となっています。月に一度、保育園児とのふれあい給食もあり、未就学児から中学生までが兄弟のように仲良く過ごしています。

姫島の小学校と中学校の特徴的な取り組みに、「小中連携教育」があります。小学生が中学校の数学の先生に算数を習うなど、専門性を生かした授業が行われ、先生たちは各学年の習熟度を見ながら、小中9年間を見通した教育を行っています。学校行事や

委員会活動は合同で行われることが多く、時には優しく、時には厳しく接してくれる上級生とその姿を慕う下級生の密なつながりにより、姫島の小中学校の伝統がしっかりと受け継がれています。

海に囲まれた姫島独自の学校行事に、中学生が漁船に乗って漁に出かける水産実習があります。また小中合同で、地元で水揚げされたアジをさばいて干物を作るアジ干し実習もあります。島の豊かな自然環境が学びの場となっています。

地域と学校のつながりも深く、学校行事でも全島行事でも島を挙げてのサポートで成り立っています。地域に支えられ開かれた学校を舞台に、子どもたちは伸び伸びと学び、育っています。



島のお年寄りを招く地域ふれあい学習で一緒にレクリエーション



子どもに教えてもらいながら先生も一緒にアジをさばく水産実習